

2015 年度 シニア会員申請のご案内

本会は、昨年度より情報処理分野において継続的な貢献が認められ、学会活動を通して本会の発展に寄与する正会員に対し敬意を表明するとともに、将来にわたって引き続き学会活動の中心となって、学会の発展、ひいては社会への貢献をいただくという趣旨のもと、「情報処理学会シニア会員制度」を設けております。

シニア会員の申請有資格者様におかれましては、本制度の内容をご確認の上、ぜひとも申請をいただき、本会シニア会員として今後もなお一層の積極的な学会活動、ご活躍をいただければ幸いです。多くの方からの申請をお待ちしております。

2015 年度シニア会員申請および申請手続き要項

以下の要項をご確認の上、学会 Web サイト内のシニア会員 Web ページより、「シニア会員申請フォーム」に申請書類を添付して事務局までご送信ください。また、事務局シニア会員担当あて電子メール、および郵送での申請も受け付けております。

Web ページ	http://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/seniormember/seniormember.html
申請対象者	2015 年 4 月 1 日現在で正会員として連続 5 年以上在会の方が対象です。 ＊年齢不問、学生会員としての在会期間は対象外です。
申請受付締切	2015 年 7 月 31 日（金）まで
申請書類	シニア会員申請書 1 通 シニア会員推薦書 2 通（推薦書は 2 名分必要です）
申請方法 （①～③いずれかの方法で申請してください）	申請は自己申告による申請と第三者申告による申請がございます（詳細は Web ページをご確認ください）。 ■自己申告の場合の申請方法 ① Web サイト申請フォームから申請 - 上記 Web ページより「シニア会員申請書」をダウンロード、必要事項を記入してください。 - 推薦者に該当する 2 名の方より「シニア会員推薦書」を入手してください。 「申請書」、「推薦書」、「推薦書」の順に計 3 ページ分を PDF にて 1 つのファイルにまとめてください。 - 上記 Web ページ内の「シニア会員申請フォーム」に必要事項をご入力頂き、3. で作成したファイルを添付して受付期間内に申請してください。 ② 電子メールで申請 soumu@ipsj.or.jp あてのメールに必要事項をすべて入力済みの「申請書」1 通、「推薦書」2 通を添付してお送りください。 ③ 郵送にて申請 事務局管理部門シニア会員担当へ必要事項をすべて記載した「申請書」1 通、「推薦書」2 通（いずれもサイズは A4 判）をお送りください。 ①、②、③とも事務局にて受付後、受付完了メールを申請者・推薦者にお送りしますのでご確認ください。 ■第三者申告の場合の申請方法 【申告者（推薦者）】 第三者による申告の場合、申告者（推薦者）は次項 1～6 のいずれかに該当する本会員に限ります。また、申告者は推薦者の一人となります。 ① Web サイト申請フォームから申請 ② 電子メールで申請 ③ 郵送にて申請 いずれも自己申請の場合と同様。
推薦者	推薦者は下記 1～6 のいずれかに該当する方です。2 名の方から推薦書をいただいでください（推薦者は上記 Web ページにて確認できます）。 1. 本会名誉会員 2. 本会フェロー 3. 本会役員及び役員経験者 4. 本会支部長及び支部長経験者 5. 本会研究会主査及び研究会主査経験者 6. 本会シニア会員
審査方法	申請書類に基づき、本会総務財務運営委員会で審査を行い、理事会へ諮ります。 【審査基準】 本会関連分野の技術者、科学者、教育者、技術管理者で、連続して 5 年以上本会正会員として在会しており、本会の諸活動の支援および諸事業において、貢献が認められる方。
結果連絡	2015 年 10 月ごろ、申請書に記載のメールアドレスへ審査結果を連絡します（審査状況によっては日程が変更になる可能性があります）。 申請が認定された方は、本会 Web ページにお名前を掲載し、後日「シニア会員認定証」を会誌発送先の住所へお送りします。

申請・照会先：〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
 情報処理学会事務局 管理部門 シニア会員担当
 TEL：03-3518-8374 e-mail: soumu@ipsj.or.jp



年会費
無料

ジュニア会員 3つのメリット!!

皆さんの入会
お待ちしております!



あの人気の学会誌が 読める!

面白くてためになる
情報処理学会の
月刊誌「情報処理」を
オンラインで閲覧できます

興味のあるトピックを もっと学べる!

幅広いトピックをカバーする
39種類の研究会から
一つ選んで
論文閲覧・講演聴講できます

学会のイベントに 参加しやすくなる!

学会主催イベント等に
学生会員価格で
参加できます

小中高校生、大学学部 1~3 年生の皆さん、
是非この機会に情報処理学会の無料の会員になりませんか?

♣ どうすれば入会できますか?

下記のジュニア会員専用の入会申込フォームで、オンラインで登録が完了します。

<https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-nyukai-junior2015.html>

未成年の方は、指導教員あるいは保護者の氏名欄にもご記入ください。

♣ 何年生まで申し込みできますか?

対象者は、下記の通りです。2015 年 4 月の学年でご判断ください。

- ・小中高校生
- ・大学学部 3 年生以下
- ・高等専門学校専攻科 1 年生以下
- ・短期大学生
- ・専門学校生

※ただし、以前「正会員」にご入会いただいている方はこの制度をご利用いただけません。

♣ いつまでに申し込みが必要ですか?

2015 年 10 月 31 日(土) まで

上記は 2015 年度の申し込み期限です。申込者多数の場合には、先着順で入会承認までにひと月程度お待ちいただく場合がありますので、お早めにお申し込みください。
2016 年度には、さらに無料で閲覧できる範囲を拡大して本格的に開始予定です。ご期待ください。

詳細情報 (情報処理学会会員の皆様、指導教員の皆様、保護者の皆様へ)

●2015 年度ジュニア会員制度 (試行) の概要

情報処理学会では、2015 年度から「ジュニア会員制度 (試行)」を実施いたします。

若い世代の学生の皆様に、学会のコンテンツに触れてもらえる機会を増やすことで、学生の皆様のステップアップに繋がっていただきたくと共に、学術と産業の発展に貢献できればと考えて、この制度を始めることにしました。

ジュニア会員は会費が無料となっております。該当される学生の皆様に、是非この制度をご紹介いただきたく、どうぞよろしくお願いいたします。

●ジュニア会員のサービス内容

- ・会費が無料です。
- ・4 月現在で、大学学部 3 年生以下の学生の方が入会申込いただけます。
- ・創刊号から最新号まですべての「情報処理」(月刊) を電子図書館で閲覧できます。紙の冊子での配布はありません。
- ・その他のサービスは、「学生会員」と同じです。

【参考】学生会員サービス

<http://www.ipsj.or.jp/member/service-gakusei.html>

※ジュニア会員制度は試行中のため、サービス内容が変更となる場合がございますがご了承ください。

●会員資格の有効期間と会員継続方法

- ・会員証に記載する会員種別は、「学生会員ジュニア」となります。
- ・会員資格の有効期間：2015 年度の入会日から年度末 (2016 年 3 月 31 日) まで
- ・学生 (証) の確認をさせて頂く場合がございますので予めご了承ください。
- ・会員継続方法：2015 年 11 月上旬に、電子メールで会員継続意思確認のご連絡をさせていただきますので、回答フォームより 11 月末までにご回答をお願い致します。期日までにご回答を頂けない場合には会員継続のご意思がないものと判断させていただきます。年度末をもって退会とさせていただきます。
- ・2016 年 4 月に対象者でなくなって有料会員に移行する方には、2016 年度の会費支払いのご案内を 2016 年 1 月頃にお送りします。会員継続を希望しない場合には、その時点で退会申し込みをすれば支払う必要はありません。

▼ 詳しくは Web をご確認ください。

<http://www.ipsj.or.jp/member/junior-try2015.html>



会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、2月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、特集「ウェルネスのためのICT」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■ p.139 表-2の数値とその説明文の対応が理解できませんでした。また、"Wellness"が提起された背景についての説明があった方が、特集を組んだ狙いが明確に伝わったのではないのでしょうか？身体と精神（心）を別々に考えて治療するのではなく、全体のバランスをとることにICTが有効だとの主張が欲しかった気がしています（専門医のコラボ、臨床例の充実、ほか）。
(酒井保良)

■専攻している感性科学の研究に通じる内容も含まれており、大変刺激になった。
(匿名希望)

■認知症予防など高齢者を対象としたテーマでは、利用者の資金や能力に制約があったり投資効果が捉えにくかったりなど困難が多く、対応が大変だと思えます。それでも、高齢者は増えたが政府の予算も個人の預金もないという状況が来たときに解決不可能な大問題とならないよう、早めに対応することが重要だと思いました。
(匿名希望)

■とても面白く読みました。こういう記事も情報処理学会誌で読めるのだということを改めて認識なおしました。どれも読みごたえがあり、全部良かったと思いました。
(匿名希望)

「3. 認知症予防に役立つICT」

■喫緊の難問に、真正面から取り組んでいるところが良かった。
(酒井保良)

■認知症の定義や予防の種類など分かりやすくまとめられており、読みやすかった。また、認知症の予防にICTがどのように役立っているのか知ることが

できて良かった。
(匿名希望)

「5. デジタル・ビューティー」

■興味深い内容でした。
(匿名希望)

「6. ウェアラブルセンシングとヘルスケア」

■句点から句点まで数行にわたる文が散在するので、その文のところで読む速度が滞る。
(牛島和夫)

■においセンサの活用やユーザをだますことによる情報提示の活用など、興味深い記事だった。

(匿名希望)

小特集「情報オリンピック」については、以下のご意見・ご感想をいただきました。

■このようなテーマを学会誌で積極的に取り上げていくのはとても良いことだと感じました。もっと中高生の参加者の素顔やがんばりに迫れる内容も読んでみたいと思いました。
(匿名希望)

■これまでまったく知らなかったような状態でしたので、面白かったです。
(匿名希望)

■中学3年の高谷君が金メダルを獲得したことを知り、また、東大数学科4年の保坂君が要領よく問題の解説をしてくれており、いずれも大変心強く感じた。しかし、我が国の情報科学教育（プログラミング教育を含む）の裾野については、心もとないものがある。
(牛島和夫)

連載「会誌編集委員会女子部」については、以下のご意見・ご感想をいただきました。

■女子部の記事は育児ネタが多いと思いますが、そのあたり男性の意見も聞いてみたいです（会報に向いているか分かりませんが…）。
(匿名希望)

■なぜ女性研究者だけが育児について苦労して悩まなければならないのかと感じます。最近周囲で育児を取得する男性も見かけますが、全体に比べるとく少数なのだと思います。託児所設置は一步ずつ進んでいるようですが、イクメン研究者が当たり前になるにはまだ時間がかかりそうですね。
(匿名希望)

■学会の会議に出席することについての取り組みの状況が述べられていて、会員に対しても参考になったものと思います。
(匿名希望)

会議レポート「IIAI International Conference on Advanced Applied Informatics 2014 (IIAI AAI 2014)」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■基調講演だけでなくセッションの状況とかも分かると嬉しいです。スペースが余っているようなので、写真などがもう少しあるとイメージがつかみやすくて良いなと思いました。
(匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■どの記事も楽しく拝読いたしました。(匿名希望)

■本号の記事はいずれも読み度があって良かった。
(牛島和夫)

■学会として情報(という科目)を大学入試センター試験の必修科目にするよう提言を行ってはどうか。
(水野光朗)

■今後、組込み型プログラミングや、FPGA, Raspberry Pi, Arduino Uno など取り上げてほしい。
(高木 淳)

■ドローンや自動運転に関して特集してほしい。
(柴田直樹)

■ロボティクスの情報科学的な側面について興味を持っています。
(柴田直樹)

■「情報リテラシー教育」に関するテーマを取り上げていただけたらと思います。
(匿名希望)

■会社組織(ベンチャー企業も含む)におけるプログラムの位置付けに関する日本と欧米の違いを取り上げてほしい。
(匿名希望)

■気象や災害の分野でのIT活用、ディープラーニング、マーケティングや顧客接点でのIT活用などに興味がある。
(匿名希望)

■最新の技術状況を理解したいので、いろいろな分野での特集をお願いしたい。
(匿名希望)

【本欄担当 海老澤竜, 木村功作/会員サービス分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」< URL : <http://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html> > にも掲載しています。Web 版では、紙面の制限などのため掲載できなかったコメントも掲載していますので、ぜひ、こちらでもご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html>> で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門
E-mail : editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!



IPSJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「ネットワークサービスと分散処理」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/16-E.html	5月7日(木)		
	デジタルプラクティス「3Dプリンタがもたらす、革新的ものづくりによる新たな世界」特集論文募集 http://www.ipsj.or.jp/dp/cfp/dp0701s.html	5月7日(木)		
	論文誌「ソフトウェア工学」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/16-F.html	5月11日(月)		
	論文誌「組込みシステム工学」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/16-H.html	5月11日(月)		
	論文誌「インタラクションの理解および基盤・応用技術」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/16-J.html	6月19日(金)		
	論文誌「音楽情報処理技術の進歩とその拡がり」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/16-K.html	7月31日(金)		
	論文誌「Applications and the Internet in Conjunction with Main Topics of COMPSAC 2015」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/16-L.html	10月30日(金)		
5月11日(月)～	第46回ユビキタスコンピューティングシステム研究発表会	3月20日(金)	当日のみ	名古屋大学
5月12日(火)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ubi46.html			東山キャンパス
5月14日(木)	第171回システムとLSIの設計技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/sldm171.html	3月11日(水)	当日のみ	北九州国際会議場
5月14日(木)～	第95回グループウェアとネットワークサービス・	3月23日(月)	当日のみ	津田塾大学
5月15日(金)	第13回セキュリティ心理学とトラスト合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gn95spt13.html			小平キャンパス
5月14日(木)～	第163回ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会	3月23日(月)		和倉温泉
5月15日(金)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hci163.html			(石川県七尾市)
5月16日(土)	第106回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ch106.html	3月16日(月)	当日のみ	東京
5月18日(月)	東海支部報告会 http://www.ipsj.or.jp/annai/shibu/shibu_tayori2015.html			(具体的な場所調整中) ルブラ王山(名古屋市)
5月18日(月)～	第197回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会	3月20日(金)	当日のみ	日本科学未来館
5月19日(火)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim197.html			
5月19日(火)～	ハイパフォーマンスコンピューティングと計算科学シンポジウム			東京大学
5月20日(水)	http://hpcs.hpcc.jp/			武田先端知ビル
5月20日(水)	関西支部報告会 http://www.ipsj.or.jp/annai/shibu/shibu_tayori2015.html			京都リサーチパーク
5月21日(木)～	第61回高度交通システムとスマートコミュニティ・	3月20日(金)	当日のみ	神奈川工科大学
5月22日(金)	第13回コンシューマ・デバイス&システム合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/its61cds13.html			
5月21日(木)～	第69回コンピュータセキュリティ・	3月20日(金)	当日のみ	別府国際コンベンション
5月22日(金)	第29回インターネットと運用技術合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/csec69iot29.html			センター
5月22日(金)	中国支部報告会 http://www.ipsj.or.jp/annai/shibu/shibu_tayori2015.html			広島市まちづくり市民
5月22日(金)～	第16回教育学習支援情報システム研究発表会	3月24日(火)	当日のみ	放送大学
5月23日(土)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cle16.html			熊本学習センター
5月23日(土)～	第107回音楽情報科学研究発表会	3月25日(水)	当日のみ	電気通信大学
5月24日(日)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mus107.html			
5月25日(月)～	第221回自然言語処理・第106回音声言語情報処理合同研究発表会	4月6日(月)	当日のみ	東北大学
5月26日(火)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/nl221slp106.html			片平さくらホール
5月28日(木)～	第163回マルチメディア通信と分散処理・	3月20日(金)	当日のみ	宮古島マリンターミナル
5月29日(金)	第75回モバイルコンピューティングとユビキタス通信合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dps163mb175.html			
6月4日(木)～	第188回ソフトウェア工学・第37回組込みシステム合同研究発表会		当日のみ	ラゾーナ川崎東芝ビル
6月5日(金)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/se188emb37.html			
6月4日(木)～	第104回プログラミング研究発表会	4月6日(月)	当日のみ	富山県教育文化会館
6月5日(金)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/pro104.html			
6月12日(金)	四国支部報告会 http://www.ipsj.or.jp/annai/shibu/shibu_tayori2015.html			徳島大学
6月12日(金)～	第153回アルゴリズム研究発表会	4月10日(金)	当日のみ	定山溪ビューホテル
6月13日(土)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/al153.html			
6月13日(土)	第132回情報システムと社会環境研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/is132.html	4月13日(月)	当日のみ	青山学院大学
6月18日(木)	連続セミナー 2015 第1回「クラウド基盤技術の最新動向」 http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2015/		定員になり次第	化学会館
6月23日(火)～	第103回数値モデル化と問題解決・第42回バイオ情報学会合同研究発表会	4月30日(木)	当日のみ	大阪大学中之島センター
6月25日(木)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps103bio42.html			沖縄科学技術大学院大学
7月2日(木)	連続セミナー 2015 第2回「ものづくりとICTの新たな統合～Industrie4.0を切る～」 http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2015/		定員になり次第	化学会館
7月8日(水)～	マルチメディア、分散、協調とモバイル(DICOMO2015)シンポジウム	3月23日(金)		大阪大学中之島センター
7月10日(金)	http://dicomo.org/			ホテル安比グラント
7月27日(月)～	第18回画像の認識・理解シンポジウム		当日可	ホテル阪急エキスポパーク
7月30日(木)	http://cvim.ipsj.or.jp/MIRU2015/			

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
8月3日(月)～ 8月4日(火)	第12回ネットワーク生態学シンポジウム http://www.neteco.jp/symposium/201508/		定員になり次第	静岡県伊東市 山喜旅館
8月3日(月)～ 8月5日(水)	2015年度教員免許更新講習 http://www.ipsj.or.jp/annai/committee/education/KOSHU2015.html		7月15日(水) 定員になり次第	東京大学駒場地区
8月26日(水)～ 8月28日(金)	DA シンポジウム 2015 ―システムとLSIの設計技術― http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/s-da2015.html	5月15日(金)		山代温泉 ゆのくに天祥
9月7日(月)～ 9月9日(水)	ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム 2015 http://ses.sigse.jp/2015/index.html	5月8日(金)		慶應義塾大学 日吉キャンパス
9月15日(火)～ 9月17日(木)	FIT2015 第14回情報科学技術フォーラム http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2015/	査読付き論文: 4月15日(水) 一般論文: 5月21日(木)		愛媛大学 城北キャンパス
10月21日(水)～ 10月23日(金)	組込みシステム シンポジウム 2015 http://www.sigemb.jp/ESS/2015/	6月15日(月)		早稲田大学
12月26日(土)～ 12月27日(日)	2015年度教員免許更新講習(冬) http://www.ipsj.or.jp/annai/committee/education/KOSHU2015.html		2015/7/16以降に 詳細案内予定	京都大学
2016年				
3月10日(木)～ 3月12日(土)	情報処理学会 第78回全国大会 http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/78/			慶應義塾大学 矢上キャンパス

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 3月23日 論文誌「音楽情報処理技術の進歩とその拡がり」特集 論文募集
- 3月22日 2015 年就職情報を公開しました
- 3月19日 「平成 27 年度における電波資源拡大のための研究開発の基本計画書(案)」に対する意見
- 3月18日 「特定個人情報保護評価書(全項目評価書)(案)」に関する意見募集
- 3月17日 2014 年度情報処理技術遺産を公開しました
- 3月15日 2015 年就職情報を公開しました
- 3月15日 人材募集情報 (Vol.56 No.4)
- 3月15日 会誌「情報処理」Web カタログ (Vol.56 No.4)
- 3月10日 [プレスリリース] 2014 年度情報処理技術遺産認定
- 3月9日 論文誌「インタラクションの理解および基盤・応用技術」特集 論文募集
- 3月9日 [プレスリリース] IPSJ-ONE をニコニコ生放送で配信

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書に記載する「宛名」、Web 掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿（[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]）を添えて下記の申込先へ、E-mail、Fax または郵送にてお申し込みください。

*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限: 毎月 15 日を締切日とし翌月号（15 日発行）に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関、国公立研究機関 税抜 20,000 円（税込 21,600 円）

賛助会員（企業） 税抜 30,000 円（税込 32,400 円）

賛助会員以外の企業 税抜 50,000 円（税込 54,000 円）

* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金 税抜 4,000 円（税込 4,320 円）で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部（有料会告係） E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

* 原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■国立研究開発法人情報通信研究機構

- 募集人員** パーマネント研究職員またはテニュアトラック研究員 十数名
- 研究分野** (1)先端ネットワーク分野、(2) ICTセキュリティ分野、(3)情報解析・利活用分野、(4)電磁波計測・センシングシステム分野、(5) ICTフロンティア分野、(6)その他情報通信に関するイノベティブな技術
- 応募資格** 応募資格の詳細は、機構 Web ページをご覧ください
- 着任時期** 原則として 2016 年 4 月 1 日
- 提出書類** (1)訪問票（当機構指定様式^{*}）、(2)研究経歴書（要約を含む）、(3)論文リスト（誌上発表および口頭発表別）、(4)主要な研究業績（主な著書あるいは主要論文別刷等（3編程度、コピー可））、(5)研究計画書
* 訪問票の様式は機構 Web ページからダウンロードしてください、そのほかは様式自由です
- 応募締切** 2015 年 5 月 22 日 17:00（必着）
- 送付先/照会先** 〒184-8795 東京都小金井市貫井北町 4-2-1 国立研究開発法人情報通信研究機構総務部人事室人事グループ 採用担当
「平成 28 年度採用 NICT 研究職員 応募書類在中」と必ず朱書し郵送
E-mail: jinjig@ml.nict.go.jp Tel(042)327-7304 Fax(042)327-7590
- その他** 本公募に関する詳細は、必ず機構 Web ページ（<http://www.nict.go.jp/employment/permanent/2016perm-kenkyu.html>）をご確認ください

■島根大学大学院総合理工学研究科

- 募集人員** 教授 1 名（常勤：任期なし）
- 所属** 情報システム学領域
- 専門分野** 情報科学／情報工学（ソフトウェア工学が望ましい）
- 担当科目** 大学院：専門分野に関連する科目、セミナー、特別研究
学部：プログラミング関連および専門分野に関連する講義・演習科目、情報科学（全学基礎科目）、卒業研究
- 応募資格** (1)博士の学位（取得見込みを含む）を有すること、(2)国籍は問わないが、日本語で授業ができること
- 着任時期** 2015 年 10 月 1 日以降のできるだけ早い時期
- 提出書類** (1)履歴書、(2)研究業績リスト（研究費の獲得実績、および学会活動・社会活動の実績を含む）、(3)主要論文別刷（5編、コピー可）、(4)上記 (3)の論文の概要（各論文について 200 字以内）、(5)教育研究に対する抱負、(6)業績を評価できる方 2 名の氏名および連絡先
- 応募締切** 2015 年 5 月 28 日（必着）
- 送付先** 〒690-8504 島根県松江市西川津町 1060 島根大学大学院総合理工学研究科長 服部泰直
「情報システム学領域教員応募書類在中」と朱書し（簡易）書留 * 応募書類は原則として返却しません。提出書類に含まれる個人情報、選考および採用以外の目的には使用しません
- 照会先** 情報システム学領域 浜口清治 E-mail: hama@cis.shimane-u.ac.jp Tel/Fax(0852)32-6468
- その他** 選考方法：書類選考および必要に応じ本学において面接等を行います。書類選考通過者に対して面接の実施日時等をお知らせします。その際の旅費・宿泊費は応募者の負担となります。また、島根大学では男女共同参画社会の実現を目指しています。「男女共同参画社会基本法」の趣旨にのっとり、業績（研究業績、教育業績、社会的貢献等）および人物の評価において同等と認められた場合は女性を採用します。選考結果は応募者本人に通知します
公募の詳細については、Web ページ（http://www.shimane-u.ac.jp/introduction/recruit/recruit_prof/）を参照してください

■名古屋大学大学院情報科学研究科

募集人員 助教(テニュアトラック教員) 1名(任期:原則5年,「名古屋大学テニュアトラック制に関する規程」)
 所 属 計算機数理学専攻情報数理モデル論講座
 専門分野 数理情報学
 応募資格 原則博士の学位を有する(取得見込みも含む)
 着任時期 2015年10月1日以降のできるだけ早い時期
 提出書類 詳細はWebページ(<http://www.nagoya-u.ac.jp/employment/teacher/index.html>)を参照
 応募締切 2015年5月29日(必着)
 送 付 先 〒464-8601 愛知県名古屋市中種区不老町 名古屋大学大学院情報科学研究科 計算機数理学専攻長 松原 洋
 「情報数理モデル論講座教員公募関係」と朱書し簡易書留
 照 会 先 松原 洋 E-mail: yom@is.nagoya-u.ac.jp
 そ の 他 提出書類は本選考のみに使用し,他の目的には使用しません
 選考の過程で講演をお願いすることがあります
 研究科について詳しくはWebページ(<http://www.is.nagoya-u.ac.jp/>)をご覧ください
 本公募は「国際公募」です
 本学では採用に関して男女共同参画に配慮しており,女性の積極的な応募を期待します

■福井大学大学院工学研究科

募集人員 講師または助教 1名
 所 属 情報・メディア工学専攻情報・メディア工学講座(工学部情報・メディア工学科の教員を兼務)
 専門分野 [教育分野]ソフトウェア分野の実践的教育 [研究分野]情報工学/情報科学の分野であれば,個別の分野は問わない
 担当科目 言語処理/コンパイラ, ソフトウェア工学, プログラミング科目(オブジェクト指向言語等を含む), その他, 実験・実習等
 応募資格 着任時に博士の学位を有し,教育・研究に熱心な方
 着任時期 2015年10月1日以降のなるべく早い時期
 提出書類 Webページ(<http://www.fuis.u-fukui.ac.jp/>)参照
 応募締切 2015年5月29日(必着)
 送 付 先 〒910-8507 福井県福井市文京3-9-1 福井大学大学院工学研究科情報・メディア工学専攻 森眞一郎
 照 会 先 情報・メディア工学専攻 専攻長 森眞一郎 E-mail: moris@u-fukui.ac.jp Tel(0776)27-8577
 そ の 他 詳細はWebページ(<http://www.fuis.u-fukui.ac.jp/>)を参照ください

■明星大学情報学部情報学科

募集人員 教授,または准教授 1名
 専門分野 ソフトウェア工学, データベースまたはデータサイエンス, アルゴリズム など
 担当科目 ソフトウェア工学, データベース工学, アルゴリズムとデータ構造 など
 応募資格 教育に関しては,学部学生の基礎から専門までの幅広い授業および学生指導に熱意を持ってあたり,研究に関しては上記専門分野において高い研究能力を有すること,博士の学位を持ち,大学院における研究指導ができること
 着任時期 2016年4月1日
 提出書類 個人調書票および研究業績リスト(本学指定のもの)1部,主要著書・論文(3点,コピー可),担当授業予定科目の中から1科目についての講義計画1部,本学での教育および研究に対する抱負(1200字程度,PBLの実践など特別な取り組みの実績があれば書いてください),可能であれば推薦書および参考意見を聞くことができる方の氏名,所属,連絡先
 ※詳細はWebページ(<http://www.meisei-u.ac.jp/recruit/index.html>)をご覧ください
 応募締切 2015年5月29日(必着)
 送 付 先 〒191-8506 東京都日野市程久保2-1-1 明星大学情報学部 学部長
 「情報学部教員応募書類在中」と朱書し宅配便または書留 *応募書類は,著書以外返却いたしません
 照 会 先 情報学部支援室 E-mail: is-info@gad.meisei-u.ac.jp Tel(042)591-6239 Fax(042)591-5452
 そ の 他 応募書類は,選考の進行状況に応じて追加していただく場合があります。2次選考では模擬授業をしていただくことがあります
 詳細な応募要項はWebページ(<http://www.meisei-u.ac.jp/recruit/index.html>)を参照ください
 本学指定の用紙は,上記よりダウンロードの上ご使用ください
 「JRECIN研究者人材データベース」(<http://jrecin.jst.go.jp/>)にも掲載しております

■北見工業大学情報システム工学科

- 募集人員 助教 1名(任期:5年,ただし,業績審査により定年までの在職が可能)
- 専門分野 情報システム工学関連分野(知識工学,人工知能,計算機工学などソフトウェア・情報処理の分野で業績がある方が望ましい)
- 担当科目 情報システム工学実験演習科目
- 応募資格 (1)博士の学位を有する方,または着任までに取得が確実な方,(2)教育研究に意欲を持って取り組める方,(3)外国語を母国語とする方の場合には,学生指導を含め学内諸業務の遂行が可能な日本語能力を有していること
- 着任時期 2015年10月1日以降,2016年4月1日までのできるだけ早い時期
- 提出書類 履歴書,研究業績リスト,すべての査読付き学術論文別刷(コピー可),外部資金獲得状況リスト,これまでの研究の概要と今後の教育および研究ならびに専門を活かした地域貢献に関する抱負(各1000字程度),照会可能な方2名の所属,氏名,連絡先,応募者本人の連絡先(電話番号,E-mailアドレス) ※履歴書,研究業績リストの様式は下記の本学Webページからダウンロードしてください
- 応募締切 2015年7月1日(当日消印有効)
- 送付先/照会先 〒090-8507 北海道北見市公園町165 北見工業大学情報システム工学科 学科長 三波篤郎
E-mail: sannami@mail.kitami-it.ac.jp 「情報システム工学科助教応募書類在中」と朱書き書留
- そ の 他 選考方法:1次選考(書類審査)を通過した方について面接による選考を行います。なお,面接に伴う旅費等は応募者の負担となります。詳細は本学Webページ(<http://www.kitami-it.ac.jp/>)内の教員公募を参照ください

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集，参加案内等）の本誌掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金	
論文募集／ 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショ ップ，講演会，講習会などの論文募集・ 参加者募集	1 ページ，1/2 ページ または 1/4 ページ	(主催・共催)	
			1 ページ	50,000 円 (税込 54,000 円)
			1/2 ページ	30,000 円 (税込 32,400 円)
			1/4 ページ	20,000 円 (税込 21,600 円)
			(協賛)	
			広告として取り扱う	
人材募集	国公立教育機関，国公立研究機関， 企業の人材募集	10 行程度	国公立教育機関，国公立研究機関	20,000 円 (税込 21,600 円)
			賛助会員（企業）	30,000 円 (税込 32,400 円)
			賛助会員以外の企業	50,000 円 (税込 54,000 円)
			* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金 4,000 円 (税込 4,320 円) で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。	

■申込方法

任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web 掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

■原稿の書き方

- 行事次第書： A4 判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。
(1 ページ) 天地 260mm × 左右 175mm
(1/2 ページ) 天地 130mm × 左右 175mm
(1/4 ページ) 天地 65mm × 左右 175mm
* A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。
- 人材募集： 次の項目を明記し，E-mail または Fax，郵送にてお送りください。
[募集職種，募集人員，(所属)，専門分野，(担当科目)，応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先]
* なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください。

■申込期限

毎月 15 日を締切日とし，翌月号（15 日発行）に掲載します。

■掲載料金

掲載号発行日に料金を請求いたしますので，3 カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係）
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375



FIT2015 講演募集案内 第 14 回情報科学技術フォーラム

Web サイト <http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2015/>

【会期】2015 年 9 月 15 日（火）～17 日（木）
【会場】愛媛大学 城北キャンパス（松山市）
【テーマ】「ICT による日本再生」

情報処理学会 (IPSJ) と電子情報通信学会情報・システムソサイエティ (ISS) 並びにヒューマンコミュニケーショングループ (HCG) とは、2002 年から合同で毎年秋季に、「情報科学技術フォーラム (FIT: Forum on Information Technology)」を開催しており、2015 年 9 月には第 14 回目を愛媛大学で開催します。

本フォーラムは、両学会の大会の流れを汲むものですが、従来の大会の形式に捉われずに、新しい発表形式を導入し、タイムリーな情報発信、活気ある議論・討論、多彩な企画、他分野研究者との交流、などを実現してきております。

皆様の研究成果発表の場として、論文発表を募集致しますので奮って御応募下さい。

論文誌への道！

「FIT 査読付き論文」で優秀論文を論文誌へ推薦する制度

FIT では、情報分野のより一層の活性化を目的として、「FIT 査読付き論文」について優秀な論文を FIT として情報処理学会または電子情報通信学会の論文誌へ推薦する制度がございます。「FIT 査読付き論文」の申込みと合わせて「論文誌への推薦希望」も受け付け致しますので、御希望の方は、Web からの講演申込みの際に「論文誌への推薦希望」欄にチェックを入れて下さい。論文誌へ推薦されるためには、完成度の高い論文であることが求められます。論文誌への推薦可否結果は、2015 年 6 月 19 日（金）に推薦を希望された皆様にお知らせする予定です。本制度を利用し是非チャレンジして下さい。

※論文誌掲載の採否は、それぞれの学会の論文誌編集委員会が決定致します。

【FIT 論文表彰制度】

FIT には、**船井ベストペーパー賞**、**FIT 論文賞**、**FIT ヤングリサーチャー賞**からなる論文表彰制度がありますが、FIT2013 よりこれに加えて **FIT 奨励賞**を新たに創設致しました。

皆様、是非ともチャレンジして下さい。

船井ベストペーパー賞	FIT 査読付き論文で採択された論文の中から、査読会議において各分野の応募総数の 5%を上限として優秀な論文を推薦し最終的に 10 件程度の論文を選定。選定された論文の中から受賞論文 3 件 を選定。受賞論文には、表彰式 (FIT2015 会期中) にて 賞金 20 万円 を船井情報科学振興財団より贈呈。
FIT 論文賞	上記船井ベストペーパー賞と同様の選定手続きを経て選定された論文 10 件程度の中から受賞論文 7 件程度 を選定。受賞論文には、表彰式 (FIT2015 会期中) にて 賞金 5 万円 を FIT 運営委員会より贈呈。
FIT ヤングリサーチャー賞	発表件数の 1.5%を上限として、2015 年 12 月 31 日現在で 33 歳未満の講演者 (査読付き論文及び一般論文) を対象に優れた発表を選定。受賞者には 賞金 3 万円 を次回の FIT2016 の表彰式にて FIT 運営委員会より贈呈。
FIT 奨励賞	一般発表のセッション毎に座長の裁量で優秀な発表を 1 件その場で選定 (該当なしもあり)。受賞者には、当該 FIT 終了後に賞状を FIT 運営委員会より贈呈。

※いずれの賞も、情報処理学会または電子情報通信学会の会員であること

【申込みの方法・注意事項】

講演申込み及び論文原稿投稿は FIT2015 Web サイトよりお願い致します。

一人が複数の発表を行うことを認めます。ただし、内容が極めて類似したものを数件にわたって発表することはできません。なお、会場数、会期日数などの制約によりプログラム編成上、講演分野の変更を行うこともございますのであらかじめ御了承下さい。

【講演募集内容】

最近行った研究及び調査の報告、または成果を上げた新しい企画及び試験結果の報告、新製品の紹介等で、学術的に価値のある未発表のものに限りします。

論文の種類には、FIT 査読付き論文と FIT 一般論文があります。

FIT 査読付き論文 (4～8 ページ程度)

FIT 査読付き論文 (論文誌推薦希望) (6～8 ページ程度)

査読者や読者に研究内容が十分に伝わるように、最大 8 ページ程度に制限緩和された論文ページ数を活用して下さい。

【注 1】 査読付き論文に投稿されて不採録となった場合には、一般論文として扱います (一般論文での発表となります)。

【注 2】 FIT 査読付き論文を受け付ける研究分野 (研究会) については、Web ページの募集分野で最新情報を御確認下さい。

【注 3】 FIT 査読付き論文を受け付ける研究分野 (研究会) の選択は申込者様御自身の責任において適切に選択して下さい。

【注 4】 申込締切後、研究会での査読を行う際に、該当研究会で明らかに分野違い (研究会違い) と判断された論文については、査読プロセスには乗らずにクイックリジェクト (即不採録) され FIT 一般論文扱いとなりますのであらかじめ御了承下さい。

【注 5】 FIT 査読付き論文でページ数が 4 ページ以上ない場合はクイックリジェクト (即不採録) され FIT 一般論文扱いとなります。

【注 6】 FIT 査読付き論文 (論文誌推薦希望) でページ数が 6 ページ以上ない場合は「論文誌推薦はしない」に即決し、FIT 査読付き論文としてのみの査読になります。

【注 7】 御自身の論文内容と一致した分野 (査読受け入れ研究会) がない場合には、申し訳ございませんが FIT 査読付き論文として受け入れることができませんので、FIT 一般論文でのお申込みをお願い致します。

■ 申込主要日程

登録申込／投稿受付開始：2015 年 3 月 4 日（水）

登録申込締切／査読用原稿の投稿締切

：2015 年 4 月 15 日（水）

査読の採否結果通知：2015 年 6 月 19 日（金）

論文誌への推薦可否結果通知 (推薦希望者のみ)

：2015 年 6 月 19 日（金）

最終原稿投稿締切：2013 年 6 月 29 日（月）

FIT 一般論文 (2～8 ページ程度)

情報技術に関する研究成果や調査報告等、広く募集致します。論文ページ数は 2～8 ページ程度になります。

また、査読を行わない分、登録申込・投稿受付開始並びに投稿締切が、「査読付き論文」の申込に比べて約 2 か月遅くなります。

■ 申込主要日程

登録申込／投稿受付開始：2015 年 4 月 22 日（水）

登録申込締切：2015 年 5 月 21 日（木）

最終原稿投稿締切：2015 年 6 月 29 日（月）

【募集分野】

以下の 15 の分野で論文の募集を行います。

なお論文募集、FIT 査読付き論文の査読などは、情報処理学会と電子情報通信学会 (情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーショングループ) の研究会で進めます。各分野に対応する研究会は以下ようになります。

☆は情報処理学会、※は電子情報通信学会情報・システムソサイエティ、◇は電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーショングループを示します。

FIT 査読付き論文の募集は行わず FIT 一般論文のみの募集となる研究会がございますので御注意下さい。

は FIT 査読付き論文も受け付ける研究会 (研究分野)

- A:モデル・アルゴリズム・プログラミング
 - A-1 ☆アルゴリズム(AL)
 - A-2 ☆数理モデル化と問題解決(MPS)
 - A-3 ☆プログラミング(PRO)
 - A-4 ※コンピュータシミュレーション(COMP)
- B:ソフトウェア
 - B-1 ☆ソフトウェア工学(SE)
 - B-2 ☆ハイパフォーマンスコンピューティング(HPC)
 - B-3 ☆システムソフトウェアとオペレーティング・システム(OS)
 - B-4 ☆ドキュメントコミュニケーション(DC)
 - B-5 ※ソフトウェアサイエンス(SS)
 - B-6 ※知能ソフトウェア工学(KBSE)
- C:ハードウェア・アーキテクチャ
 - C-1 ☆システムと LSI の設計技術(SLDM)
 - C-2 ☆システム・アーキテクチャ(ARC)
 - C-3 ☆組み込みシステム(EMB)
 - C-4 ※コンピュータシステム(CPSY)
 - C-5 ※ディペンダブルコンピューティング (DC)
 - C-6 ※リコンフィギュラブルシステム(RECONF)
 - C-7 ※再生可能集積システム(RIS)
- D:データベース
 - D-1 ☆データベースシステム(DBS)
 - D-2 ☆情報基礎とアクセス技術(IFAT)
 - D-3 ※データ工学(DE)
- E:自然言語・音声・音楽
 - E-1 ☆自然言語処理(NL)
 - E-2 ☆音声言語情報処理(SLP)
 - E-3 ☆音楽情報科学(MUS)
 - E-4 ※言語理解とコミュニケーション(NLC)
 - E-5 ※音声(SP)
- F:人工知能・ゲーム
 - F-1 ☆知能システム(ICS)
 - F-2 ☆ゲーム情報学(GI)
 - F-3 ※人工知能と知識処理(AI)
 - F-4 ※情報論的学習理論と機械学習(IBISML)
- G:生体情報科学
 - G-1 ☆バイオ情報学(BIO)
 - G-2 ※ニューロコンピューティング(NC)
 - G-3 ※ME とバイオサイバネティクス(MBE)
 - G-4 ※医用画像(MI)
- H:画像認識・メディア理解
 - H-1 ☆コンピュータビジョンとイメージメディア(CVIM)
 - H-2 ※パターン認識・メディア理解 (PRMU)
- I:グラフィクス・画像
 - I-1 ☆グラフィクスと CAD(CG)
 - I-2 ☆オーディオビジュアル複合情報処理(AVM)
 - I-3 ☆エンタテインメントコンピューティング(EC)
 - I-4 ☆デジタルコンテンツクリエイション(DCC)
 - I-5 ※画像工学(IE)
- J:ヒューマンコミュニケーション&インタラクション
 - J-1 ☆ヒューマンコンピュータインタラクション(HCI)
 - J-2 ※異文化コラボレーション(IC)
 - J-3 ※クラウドネットワークロボット(CNR)
 - J-4 ◇ヒューマンコミュニケーション基礎(HCS)
 - J-5 ◇ヒューマン情報処理(HIP)
 - J-6 ◇ヒューマンプロトタイプ(HPB)
- K:教育工学・福祉工学・マルチメディア応用
 - K-1 ※教育工学(ET)
 - K-2 ※サイバーワールド(CW)
 - K-3 ※マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント(EMM)
 - K-4 ◇マルチメディア・仮想環境基礎(MVE)
 - K-5 ◇福祉情報工学(WIT)
- L:ネットワーク・セキュリティ
 - L-1 ☆インターネットと運用技術(IOT)
 - L-2 ☆コンピュータセキュリティ(CSEC)
 - L-3 ☆セキュリティ心理学とトラスト(SPT)
 - L-4 ※情報通信システムセキュリティ(ICSS)
- M:ユビキタス・モバイルコンピューティング
 - M-1 ☆グループウェアとネットワークサービス(GN)
 - M-2 ☆ユビキタスコンピューティングシステム(UBI)
 - M-3 ☆モバイルコンピューティングとパーベイシブシステム(MBL)
 - M-4 ☆高度交通システムとスマートコミュニティ(ITS)
 - M-5 ☆マルチメディア通信と分散処理(DPS)

M-6 ☆コンシューマ・デバイス&システム(CDS)

- N:教育・人文科学
 - N-1 ☆コンピュータと教育(CE)
 - N-2 ☆人文科学とコンピュータ(CH)
 - N-3 ☆電子化知的財産・社会基盤(EIP)
 - N-4 ☆教育学習支援情報システム(CLE)
- O:情報システム
 - O-1 ☆情報システムと社会環境 (IS)
 - O-2 ※ライフインテリジェンスとオフィス情報システム(LOIS)
 - O-3 ※ソフトウェアインタプライズモデリング(SWIM)
 - O-4 ※サービスコンピューティング時限(SC)
 - O-5 ※減災情報システム時限(DRIS)

〔使用言語〕

日本語または英語

〔論文ページ数・講演時間〕

FIT 一般論文ページ数: 2~8 ページ程度
 FIT 査読付き論文ページ数: 4~8 ページ程度
 FIT 査読付き論文 (論文誌推薦希望): 6~8 ページ程度
 ※3 ページ目以降から 1 ページ当り 4,000 円のページチャージ
 講演時間: 1 件 20 分 (発表時間 15 分、質疑時間 5 分)

〔講演使用機器〕

FIT 査読付き論文、FIT 一般論文とも PC プロジェクターとします。PC は各自持参をお願いします。

〔講演者の資格〕

講演者の資格は以下のとおりです。

会 員	情報処理学会、電子情報通信学会、電気学会、照明学会、映像情報メディア学会及び情報処理学会と協定を締結した海外の学会 (ACM、IEEE、IEEE/CS、KIIE、CSI) または電子情報通信学会と協定を締結した海外の学会 (IEIE、APSIPA、ECIT、IEEE/ComSoc、KICS、VDE/ITG、KIEES、CIC、IEEE/PHO、IEEE/MTT-S、IEEE/CS、KIIE) の個人会員に限りま
非会員	上記の学会会員以外の方。

〔講演参加費 (税込み)〕

講演参加費は、基本原稿掲載料 2 ページ、講演料、聴講料、論文集 DVD-ROM、プログラム、参加章の代金を含みます。なお、DVD-ROM は FIT 開催前に講演者の方に送付しますが、プログラム、参加章は会場でのお引き渡しとなります。

また、登録申込締切り後、講演の取消しをされても講演参加費等お申込内容に基づく費用につきましてはお支払いを頂くこととなりますので御注意下さい。

正会員	12,000 円
学生会員	6,000 円
一般非会員 (社会人)	24,000 円
学生非会員	12,000 円

〔エキストラページ費用 (税込み)〕

エキストラページ (3 ページ目以降) を利用された場合には、講演参加費にプラスして以下の費用を頂きます。

エキストラページ費: 1 ページ当り 4,000 円

〔別刷代 (FIT 査読付き論文の採択者のみ) (税込み)〕

FIT 査読付き論文に採択された方には論文の別刷 (100 部) を御購入頂きます。別刷代は、エキストラページの有無に関わらず 22,000 円となります。

〔講演者予稿分冊頒布〕

講演者には、御自身の論文が掲載されている講演論文集を 1 部に限り 9,000 円で講演申込時に同時受付致します。御希望の方は講演申込書の「講演論文集を希望する」にチェックをお願いします。

なお、講演論文集の一般販売は、個人購入の場合 1 部 13,000 円、団体購入の場合 16,000 円となります。

〔最新情報確認のお願い〕

FIT2015 に関する最新情報は、FIT2015Web サイトへ逐一掲載してまいりますので御確認をお願い致します。



論文誌ジャーナル掲載論文リスト Vol.56 No.4 (Apr. 2015)



【特集：インタラクションの理解および基盤・応用技術】

- 特集「インタラクションの理解および基盤・応用技術」の編集にあたって 水口 充
- VoiceDub：複数タイミング情報を伴う映像エンターテインメント向け音声同期収録支援システム 川本真一 他
- 解像度制御を用いた視線誘導 畑 元 他
- インタラクティブディスプレイの角度がソーシャルインタラクションに与える影響—ミュージアムにおけるフィールドスタディ 市野順子 他
- サッケード追尾可能な視線計測カメラの開発とそれを用いるインタラクションの可能性 川上隼斗 他
- 立体映像表示が可能なタンジブルデバイス Ficon へのペン入力の統合 福地健太郎 他
- 1つのタッチセンサを用いたマルチタッチジェスチャ認識手法 真鍋宏幸 他
- 子供たちの引き起こす「ロボットいじめ行動」の回避 城所宏行 他
- グループディスカッションコーパスの構築および性格特性との関連性の分析 林 佑樹 他
- 遠隔握手：ビデオ会議と触覚提示デバイスの一体化によるソーシャルテレプレゼンスの強化* 田中一晶 他
- TransformTable：人の空間配置を動的に変化させる自律変形デジタルテーブル 高嶋和毅 他
- JackIn：一人称視点と体外離脱視点を融合した人間による人間のオーグメンテーションの枠組み* 笠原俊一 他

- 自動車内における会話と場所の関連性の分析：タイムリーな情報の流通に向けて 松村耕平 他
- 警告メッセージの内容と提示場所における多義性に着目した化学実験の安全作業支援 宗官祥史 他

【一般論文】

- 自動列車制御装置における数値計算へのBメソッド適用の検討 寺田夏樹
- Accumulative Secure Group Association in an Ad-hoc and Ubiquitous Network Oyuntungalag Chagnaadorj 他
- 大規模軌跡データからの群パターン発見のための実用的アルゴリズム* 耿 晔亮 他
- Extraction of Potentially Useful Phrase Pairs for Statistical Machine Translation Juan Luo 他
- オノマトペを利用した商品の使用感の自動抽出 新里圭司 他
- アナログ画材を用いたアニメーションの作成を支援するシステム* 中嶋 誠 他

*：推薦論文 Recommended Paper

†：テクニカルノート Technical Note



論文誌トランザクション掲載論文リスト (Apr. 2015)

【Transactions on Computer Vision and Applications Vol.7】

- Spatial Visual Attention for Novelty Detection: Space-based Saliency Model in 3D Using Spatial Memory

Nevrez Imamoglu 他



DP レポート掲載論文リスト (Mar. 2015)

【DPR10002】

- キャンパス情報システムの構築と運用—情報基盤システムと学生教育環境の構築と運用—

脇山正博 他





デジタルプラクティス掲載論文リスト

Vol.6 No.2 (Apr. 2015)

【特集：教育と情報通信技術（ICT）】

【特集号招待論文】

- 教育用オープンソースソフトウェア群のローカライゼーションと共通翻訳メモリの開発——貫性のある用語による教育支援システムを目指して—— 常盤祐司 他
- MOOC プラットフォームを利用した大学間連携教育と反転授業の導入——北海道内国立大学教養教育連携事業の事例から—— 重田勝介 他
- 倫倫姫プロジェクト—学認連携 Moodle による多言語情報倫理 e ラーニング— 上田 浩 他
- プログラミング言語ビズケットを用いた基礎としてのプログラミング教育の提案と実践 原田康徳 他

【特集号投稿論文】

- 紙媒体による運用を前提とした授業文書管理システムの構築とその汎用性 堤 裕之 他
- タブレット端末を理科の測定実験に活用する iTester の開発と実践 光永法明

- 社会科学系大学における ICT リテラシー教育の再生—アクティブラーニングと BYOD・クラウドの活用— 遠山緑生 他

■《座談会》教育と情報通信技術（ICT）

常盤祐司氏、重田勝介氏、上田 浩氏

【一般投稿論文】

- SNS プライバシー保護とリスク管理の検討—ソーシャルモニタリングツールの開発に向けて— 山下晃弘 他
- IT システムを利用するサービスのアシュアランスケース作成 猿渡卓也 他
- ICT を用いた避難体制の構築の実証実験 中井俊文 他



会員サービスのご案内

会員の皆様に特典としてご利用いただける各種サービスをご案内いたします（本会 Web ページ：<https://www.ipsj.or.jp/member/other/yutai.html> 参照）。会員特典等にご意見ご要望等がございましたら事務局会員サービス部門（E-mail:mem@ipsj.or.jp）までお寄せください。

◆ ホテル（5～53%割引）

JR ホテルグループ、グランビスタホテル&リゾーツ、ダイワロイヤルホテルズ、東急ホテルズ、阪急阪神第一ホテルグループ、ホテル法華クラブ、プリンスホテル、都ホテルズ&リゾーツ、FUJIYAMA 倶楽部、ウィクリーマンション東京

◆ レンタカー（最大 55%割引）

ニッポンレンタカー、日産レンタカー、タイムズカーレンタル

◆ バック旅行（3～5%割引）

日本旅行、近畿日本ツーリスト、トップツアー、京王観光

◆ UC 丸善アカデミックカード（10%割引）

◆ パーシティウェブ コンピュータソフト（教育機関所属の方はアカデミック価格で）

CONTENTS

Preface

Comics Do Not Pursue Truth
Masami YUUKI (Comic Book Author)

Special Features

Not Too Late to Learn! Mathematics for Computer Science

432 0. Foreword

Kenjiro TAURA and Yoshimasa TSURUOKA (The Univ. of Tokyo)

434 1. Mathematics of Programming Languages

Eijiro SUMII (Tohoku Univ.)

438 2. Mathematics in Numerical Analyses - Topics on Linear Solvers -

Takeshi IWASHITA (Hokkaido Univ.)

442 3. Mathematics for Machine Learning

Masashi SUGIYAMA (The Univ. of Tokyo) and Taiji SUZUKI (Tokyo Institute of Technology)

448 4. Mathematics in Information Security

Goichiro HANAOKA (AIST)

452 5. Mathematics Curriculums for University Students in Information Science

Yoshimasa TSURUOKA and Kenjiro TAURA (The Univ. of Tokyo)

Special Features

Enhancing Society Events

456 0. Foreword

Yasuyuki SUMI (Future Univ. Hakodate)

458 1. Continued Practice of Facilitating Communication in Academic Events -System Design by The Community Member

Takeshi NISHIDA (Kobe Univ.)

465 2. Presentation Support Systems for the Epoch of Webcasting

Kazutaka KURIHARA (Tsuda College)

472 3. Wearable Live Reporting System

Yoshinari TAKEGAWA (Future Univ. Hakodate) and Kohei MATSUMURA (Ritsumeikan Univ.)

478 4. Attending a Workshop Remotely Using a Telepresence Robot

Yuki IGARASHI (Meiji Univ.)

Articles

482 BSP (Bulk Synchronous Parallel) Model, Revisited

Kiminori MATSUZAKI (Kochi Univ. of Technology) and Kento EMOTO (Kyushu Institute of Technology)

Senior Column : Messages on Favorite IT

489 Evolution of Smartphone : Interface Paradox or Interim Ubiquitous Computer?

Michiaki YASUMURA (Yasumura Lab. / Keio Univ.)

"Peta-gogy" for Future

491 Information Literacy Education is Necessary from an Elementary School

Toshiro KATAYAMA (Niigata Elementary School Attached to Niigata Univ. Faculty of Education)

492 IPSJ's License Renewal Course for Information Study Teachers (Part 1)

Yasushi KUNO (Univ. of Tsukuba)

496 sAccess : An Easy-to-use Tool for Database Manipulation Exercises

Hiroyuki NAGATAKI (Okayama Univ.) and Susumu KANEMUNE (Osaka Electro-Communication Univ.)

Series : Pilgrimage to Vintage Computers / Trail Blazers' Recollections of 0's and 1's

502 Differential Analyzer Resurrection Project

Eiiti WADA (IJI Innovation Institute Inc.)

500 Biblio Talk

508 The Women's Club of the Editorial Committee of the IPSJ Magazine



詳しくは <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

ITに関する最新情報や研究発表の場の提供を通じて、あなたのお役に立ちます。

会員募集中!!



申込/照会先 一般社団法人 情報処理学会
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
Tel(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail: mem@ipsj.or.jp

会誌「情報処理」

デジタルプラクティス **無料**

Newsstandで 購読ができる ようになりました！

会誌「情報処理」と「デジタルプラクティス」が
Apple Newsstandで購読ができるようになりました！
NewsstandはiPad, iPhone, iPod TouchなどのiOSに
プリインストールされている本棚です。

学会誌
日本初！



会誌

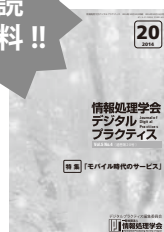
- 月単位の購入が可能です。
- 購入前に立ち読みができますので、ぜひいちどおためしください。
- 年間購読で12,400円（1冊あたり約1,000円）でお得です。
1カ月：1,700円 / 6カ月：9,400円 / 1年：12,400円

DP

- 「デジタルプラクティス」は会員・非会員を問わず、
どなたでも**無料**でお読みいただけます。
- DPアプリを一度ダウンロードすれば、
最新号が自動で送られてきます。

年間購読
でお得！！

購読
無料！！



まわりの方にも
ご紹介ください！

 アプリのダウンロードはこちら（無料）

会誌「情報処理」



<https://itunes.apple.com/us/app/yue-kan-qing-bao-chu-li-qing/id910830137?l=ja&ls=1&mt=8>

デジタルプラクティス



<https://itunes.apple.com/jp/app/qing-bao-chu-li-xue-huideojitarupurakutisu/id923233022?mt=8>

ご意見をお寄せください！

〔5月10日頃までにお出しく下さい〕

宛 先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係（下記のいずれからも送付できます）
<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html> Fax(03)3518-8375 E-mail: editj@ipsj.or.jp
 （E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください）
 ※ ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。
<http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>

〔コード〕

〔1〕 ご氏名

〔2〕 ご所属 Tel. () -

〔3〕 E-mail:

〔4〕 業種： (a) 企業（サービス業） (b) 企業（製造業） (c) 研究機関 (d) 教育機関（大学・高専など）
 (e) 学生 (f) その他 4- []

〔5〕 職種： (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
 (f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教職員（大学・大学院） (h) 教職員（小・中・高校・高専など）
 (i) 学生 (j) その他 5- []

〔6〕 年齢： (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6- []

〔7〕 性別： (a) 男性 (b) 女性 7- []

〔8〕 あなたはモニタですか？： (a) はい (b) いいえ 8- []

〔9〕 あなたのご意見は「会員の広場」（会誌およびWeb）に掲載される場合があります。その場合：
 (a) 実名可（氏名のみ掲載） (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9- []

〔10〕 今月号（2015年5月号）の記事は良かったですか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。
 [a…大変良い b…良い c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない]

巻頭コラム：漫画は正しさを求めません 10-1- []

小特集：いまさら聞けない！ コンピュータの数学

1. プログラミング言語の数学 10-2- []

2. 数値計算における数学 10-3- []

3. 機械学習のための数学 10-4- []

4. 情報セキュリティの数学 10-5- []

5. 情報系の大学数学カリキュラム 10-6- []

小特集：学会イベント支援

1. 学会イベントにおけるコミュニケーション促進の継続的実践 10-7- []

2. 放送化の時代のプレゼンテーション支援システム 10-8- []

3. ウェアラブル実況中継システム 10-9- []

4. テレプレゼンスロボットによる遠隔学会参加の体験報告 10-10- []

BSP (Bulk Synchronous Parallel) モデル再訪 10-11- []

IT好き放題：スマートフォンの進化 10-12- []

べた語義：小学校での情報リテラシー教育を！ 10-13- []

べた語義：情報科教員のための教員免許更新講習（前） 10-14- []

べた語義：データベース実習を支援するツール sAccess（サクセス） 10-15- []

ピブリオ・トーク：THINK LIKE ZUCK マーク・ザッカーバークの思考法 10-16- []

古機巡礼／二進伝心：微分解析機再生プロジェクト 10-17- []

会誌編集委員会女子部 10-18- []

〔11〕 本号で最も良かった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入），その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

〔11-1〕 良かった記事 11-1- []

〔11-2〕 この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 11-2- []

〔11-3〕 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可） 11-3- []

a) 技術・研究動向がよく分かった b) 知的興味をかきたてられた c) 新たな知識を得ることができた d) 内容が平易で理解しやすかった
 e) その他（具体的に下記にご記入ください）

〔12〕 本号で最も良くなかった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入），その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- 〔12-1〕 良くなかった記事 12-1- []
 〔12-2〕 この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 12-2- []
 〔12-3〕 選んだ理由（下記から，いくつでも選択可） 12-3- []
 a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる
 f) テーマに興味を持てなかった g) その他（下記に具体的に記入ください）

〔13〕 今月の特集に対する貴方の立場を教えてください。

- 〔13-1〕 いまさら聞けない！ コンピュータの数学：a) 専門家 b) 非専門家 13-1- []
 〔13-2〕 学会イベント支援：a) 専門家 b) 非専門家 13-2- []

〔14〕 設問〔10〕で読んでいないと答えた記事について，その理由を教えてください。

〔15〕 会誌に対するご意見やご感想，著者への質問，巻頭コラムに登場してほしい人物，今後取り上げてほしいテーマなどありましたらご記入ください。（スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください）

■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会（本部） ※ 支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担 当	E-mail	Tel(ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会，会費，変更連絡，退会，在会証明，会員証，会費等口座振替，海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容，広告掲載，転載許可，出版，論文誌（デジタルプラクティス），DP レポート，著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル／トランザクション／JIP）の編集・査読
調査研究／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録，研究発表会，シンポジウム，研究グループ，国際会議，IFIP 委員会
■ 事業部門			
事 業	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会，FIT，連続セミナー，プログラミング・シンポジウム
■ 管理部門			
総 務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会，支部，役員選挙，名誉会員
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納，送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画，電子化委員会，電子図書館，IPSJ メールニュース
図 書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp	標準化フォーラム 〒 105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/	

良薬は口に苦しというが、学生時代の自分にとって数学の勉強はあまり楽しいものではなかった。「中間値の定理」の証明に喜びを感じる人はややオカシイのではないかと、思っていたような自分が数学の特集に携わることになったのは巡り合わせの不思議である。数学の大切さとありがたみが分かるのは専門分野の仕事を始めてからで、学生時代にきちんと勉強しなかったことに対して、時すでに遅しという思いを抱いた人は私だけではないに違いない。

特集では、「コンピュータの数学」と銘打ってみたものの、そもそも情報処理に関係するすべての数学が1回の特集でカバーできるはずもなく、どのように着地させたらよいか悩むこ

ととなった。結果的には、「プログラミング言語」、「数値計算」、「機械学習」、「情報セキュリティ」の4つの分野に焦点を絞ることで、第一線の研究者に各分野の数学のエッセンスを語っていただくことができ、当該分野の本質に触れたい(が、なかなか勉強する時間のない)多くの人にとって有用だと思われる記事が集まった。これはひとえに、年末の忙しい時期に、数ページで各分野の数学をまとめるという無理難題を引き受けてくださった執筆者の方々と、ゲストエディタを引き受けてくださった田浦健次朗氏のお力による。この場を借りて改めて感謝します。

(鶴岡慶雅／本小特集エディタ)

小特集「学会イベント支援」の編集を担当しました。

学会は、学術コミュニティの活動を支える場です。学会誌、論文誌は、その活動をドキュメントとして残し、流通させる場です。その一方で、全国大会、研究会、シンポジウムといったイベントは、コミュニティメンバが集い、活動の過程を共有して、自分たちのビジョンを共感・協創するための重要な場です。ですから、ただ各自が最新の研究成果を発表し合うだけでなく、聴衆も含めたなるべく多くの参加者が知識交流の主役になれるような仕組みが望まれます。本小特集では、学会イベントにおける、発表者、聴講者それぞれが主役のシステム開発と運用を行っている皆さんに、ご自身の経験と、それを通した今後の展望を執筆

いただきました。

記事を執筆いただいた栗原さん、西田さん、竹川さん、松村さん、五十嵐さんには、昨年11月下旬に開催されたWISS2014の会場で(半ば思いつきで)特集企画のアイデアをご相談しました。その後、編集委員会内で企画が通ってから早速執筆を始めていただき、正味2カ月程度で脱稿いただきました。そのお蔭で、大変速報性の高い新鮮な話題を記事に残すことができました。と同時に、執筆者の皆さんには、通常ではあり得ないような短い期間で執筆や編集作業にご協力いただきました。深く感謝いたします。

(角 康之／本小特集エディタ)

次号(6月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」社会参加を支援する情報処理—障害者・高齢者と拓くイノベーション—

ITによる情報アクセシビリティ向上／視覚障害者の聴覚空間認知／視覚障害者のタッチパネル利用補助に関する技術動向／ろう者学教育コンテンツの開発—高等教育機関における聴覚障害学生向けの教育的支援を支える—／ICT・音声認識の活用による講演・講義の字幕付与／福祉機器開発と参加型デザイン—人と機器の適合を実現する—／盲ろう者に対する支援とコミュニケーション／発達障害当事者研究—当事者研究とソーシャル・マジョリティ研究の循環—／高機能自閉症スペクトラム障害の感覚特性／ソーシャル・イメージングの創成—創造的活動の促進と社会性形成の支援に向けて—／高齢者の感性を尊重する情報処理技術—オノマトペに着目して—／高齢者のための運転支援システムに向けた空間認知の評価技術／高齢者・認知症者の認知機能や生活の質の評価方法／ICT機器を装着した犬による生活支援—「認知症支援犬」の提案—

解 説：機械学習コンテスト—データサイエンティスト競争(共創)の場—…………… 藤若雅也

Computational Thinking 計算論的思考 …………… Jeannette M. Wing (翻訳 中島秀之)

教育コーナー：ぺた語義

連 載：古機巡礼／二進伝心／ビブリオ・トーク／会誌編集委員会女子部

コラム：巻頭コラム／シニアコラム：IT好き放題

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4 色	2 色	1 色
表 2	330,000 円 (税込 356,400 円)	—	—
表 3	275,000 円 (税込 297,000 円)	—	—
表 4	385,000 円 (税込 415,800 円)	—	—
表 2 対向	300,000 円 (税込 324,000 円)	—	—
表 3 対向	265,000 円 (税込 286,200 円)	190,000 円 (税込 205,200 円)	155,000 円 (税込 167,400 円)
前付 1 頁	250,000 円 (税込 270,000 円)	165,000 円 (税込 178,200 円)	135,000 円 (税込 145,800 円)
前付 1/2 頁	—	—	80,000 円 (税込 86,400 円)
前付最終	—	—	148,000 円 (税込 159,840 円)
目次前	—	—	148,000 円 (税込 159,840 円)
差込 (A 判 70.5kg 未満 1 枚)	275,000 円 (税込 297,000 円)		
差込 (A 判 70.5kg ~ 86.5kg 1 枚)	350,000 円 (税込 378,000 円)		
同封 (A 判 1 枚)	350,000 円 (税込 378,000 円)		

■「情報処理」

発 行 一般社団法人 情報処理学会
 発行部数 20,000 部
 体 裁 A4 判
 発 行 日 毎当月 15 日
 申込締切 前月 10 日
 原稿締切 前月 20 日
 広告原稿 完全版下データ
 原稿寸法 1 頁 天地 260mm× 左右 180mm
 1/2 頁 天地 125mm× 左右 180mm
 雑誌寸法 天地 297mm× 左右 210mm

■問合せ・お申込み先

〒 169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27
 アドコム・メディア (株) (Tel/Fax/E-mail は下に記載)

* 原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。
 * 同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック ☐ を入れ、送付希望先をご記入の上、Fax にて（または E-mail にて必要事項を記入の上）アドコム・メディア (株) 宛にご請求ください。

■「情報処理」 56 巻 5 号 掲載広告（五十音順）

- ☐ インタフェース 表 2 ☐ フォーラムエイト 表 3
☐ オーム社 表 2 対向
☐ 講談社 前付最終 ☐ すべての会社を希望
☐ サイエンス社 目次前

■資料送付先

フリガナ お 名 前			
勤 務 先	所属部署		
所 在 地	(〒 -)		
TEL ()	-	FAX ()	-
ご専門の分野			



お問合せ・お申込み・資料請求は

広告総代理店 **アドコム・メディア (株)**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html>) 「賛助会員一覧」のページからも
各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail: mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20 ～ 50口)

HITACHI
Inspire the Next
(株) 日立製作所

FUJITSU
富士通 (株)

NEC
日本電気 (株)

**MITSUBISHI
ELECTRIC**
Changes for the Better
三菱電機 (株)

CyberAgent
(株) サイバーエージェント

TOSHIBA
(株) 東芝

IBM
日本アイ・ビー・エム (株)

●●● 賛助会員 (10 ～ 19口)

RECRUIT
(株) リクルートホールディングス

Google
グーグル (株)

GREE
GREE (株)

docomo
(株) NTT ドコモ

NTT
日本電信電話 (株)

Microsoft
日本マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3 ～ 9口)

NTT Data
NTT データ (株)

NTTコムウェア
NTT コムウェア (株)

OKI
沖電気工業 (株)

楽天
楽天 (株)

JISA
情報サービス産業協会

uejima
(株) うえじま企画

SANBI
三美印刷 (株)

SONY
ソニー (株)

Panasonic
パナソニック (株)

FORUM 8
(株) フォーラムエイト